小児Ⅱ　様式Ⅱ－２

**小　児　看　護　学　実　習（Ⅱ）評 価 表**

**臨 地 実 習 指 導 者 評 価**

実習場所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学籍番号

実習期間　　年　　月　　日～　　年　　月　　日　　学生氏名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 行　動　目　標 | |
| **Ⅰ．看護役割の理解**  **（25）** | ① | 小児看護の特殊性を理解し述べることができる |
| ② | 小児の成長発達段階に応じたコミュニケーションができる |
| ③ | 患児と家族を中心とするチーム医療の中での看護の役割を理解できる |
| ④ | 小児科特有の検査･処置を理解し、必要な看護を考えることができる |
| 小児のQOLを維持･向上にむけての援助を考えることができる |
| ⑤ | 患児について客観的な観察と報告（報告・連絡・相談）ができる |
| **Ⅱ．看護過程**  **（40）** | ① | 患児と家族を理解するための必要な情報を意図的に収集できる |
| ② | 文献の活用により情報を分類・分析し、関連図を描ける |
| ③ | 適切な看護問題をあげることができる |
| ④ | 個別性を考慮した具体的な看護計画が立案できる |
| ⑤ | 小児とその家族に対し適切な看護を実践できる |
| ⑥ | 実践した看護を評価し、追加・修正できる |
| ⑦ | 実習にふさわしい態度で臨むことができる |
| **Ⅲ．研究的**  **態度**  **（25）** | ① | 学生自身の課題を明確にできる |
| ② | 倫理的配慮のもとに情報を管理できる |
| ③ | 観察した現象を正確・簡潔に専門用語を用いて記述できる |
| ④ | 実習目標に即したカンファレンスを参画・運営できる |
| ⑤ | カンファレンスの結果を今後の看護に活用できる |
| 臨地実習指導者評価  **Ⅰ．看護役割の理解**  **Ⅱ．看護過程**  **Ⅲ．研究的態度** | | |
| 臨地実習指導者　　　　　　　　　　　印　　　　　担当教員　　　　　　　　　　　　印 | | |

九州看護福祉大学　看護学科